

貸切バス新運賃・料金説明会

新運賃・料金を適用した事例

平成26年4月18日

国土交通省

ケース1 (2泊3日 大型車1台チャーター)

A市 ~ 甲地区・乙地区方面 ~ A市

初日 7時 A市内営業所 出庫~甲地区周遊~18時 B市内ホテル着 走行距離425km

2日目 乗務員フリー (旅行者の自由行動) 走行距離 0 km

3日目 8時B市内ホテル発~乙地区周遊~19時 A市内営業所 帰庫 走行距離450km

時間・キロ併用制運賃の計算式 =

時間あたり運賃額 × 走行時間 + **キロあたり運賃額 × 走行距離**

時間制運賃

キロ制運賃

それでは、実際に計算してみましよう...

- ※1 走行時間 → 出庫から帰庫までの拘束時間をいい、回送時間を含む。また、出庫・帰庫後の点呼点検時間として、合計2時間を加える。
- ※2 走行距離 → 出庫から帰庫までの距離をいい、回送距離を含む。
- ※3 距離の端数 → 10km未満 → 10kmに切り上げ。
- ※4 時間の端数 → 30分未満切り捨て、30分以上は1時間に切り上げ。
- ※5 収受すべき運賃・料金 → 計算された額 × 消費税で1円単位に四捨五入。

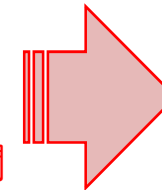


ケース1 (2泊3日 大型車1台チャーター)

A市 ~ 甲地区・乙地区方面 ~ A市

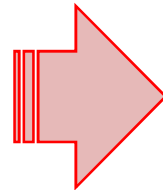
初日 7:00 出庫~18:00 ホテル着 → 11時間

出庫前点呼・点検時間⇒1時間
ホテル着後点呼・点検時間⇒1時間



走行時間13時間
走行距離425km

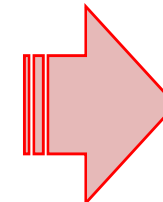
2日目 乗務員フリー (運行なし)



走行時間 0時間
走行距離 0km

3日目 8時ホテル発~19時 都内帰庫 → 11時間

ホテル発前点呼・点検時間⇒1時間
帰庫後点呼・点検時間⇒1時間



走行時間13時間
走行距離450km

時間・キロ併用制で収受可能な運賃 =

※北海道ブロック下限額で計算

時間あたり運賃額×走行時間 + キロあたり運賃額×走行距離

@4,250円 × 26時間 + @120円 × 880km = 216,100円 (税別)

修学旅行の場合、さらに2割引となるも、上記運賃額 (時間あたり運賃額、キロあたり運賃額) が下限額で計算されているため、割引は不可。

なお、深夜早朝運行なし、交替運転者なし、特殊車両不使用であれば、上記ケースでは料金は発生しない。(但し、高速道路料金、駐車料金、ガイド料等の実費にかかる収受に規制はない。以下、ケース2、3も同じ)

ケース2 (1日 中型車1台チャーター) X空港～乙方面周遊～Y空港～A市内

7:30 A市営業所 出庫～8:30 X空港発 (乗車) ～上記ルート周遊～19:00 Y空港着 (降車)
走行距離582km (うち実車 530km)
～19:30 Y空港発～翌1:30 A市内営業所 帰庫
走行距離372km (すべて回送)

時間・キロ併用制運賃の計算式 =
時間あたり運賃額 × 走行時間 + **キロあたり運賃額 × 走行距離**

時間制運賃

キロ制運賃

それでは、実際に計算してみましよう…

- ※1 走行時間 → 出庫から帰庫までの拘束時間をいい、回送時間を含む。また、出庫・帰庫後の点呼点検時間として、合計2時間を加える。
- ※2 走行距離 → 出庫から帰庫までの距離をいい、回送距離を含む。
- ※3 距離の端数 → 10km未満 → 10kmに切り上げ。
- ※4 時間の端数 → 30分未満切り捨て、30分以上は1時間に切り上げ。
- ※5 収受すべき運賃・料金 → 計算された額 × 消費税で1円単位に四捨五入。

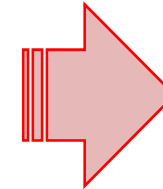


ケース2 (1日 中型車1台チャーター) X空港～乙方面周遊～Y空港～A市内

7:30 営業所 出庫～翌1:30 営業所 帰庫 → 18時間

出庫前点呼・点検時間⇒1時間

帰庫後点呼・点検時間⇒1時間



走行時間 **20時間**

走行距離 **954km**

(うち実車キロ530km)

◎時間・キロ併用制で収受可能な運賃 =

※北海道ブロック下限額で計算

時間あたり運賃額×走行時間 + キロあたり運賃額×走行距離

@3,580円×20時間 + @100円×960km=167,600円

◎交替運転者配置料金

実車キロが原則500km超(昼間)の場合、交替運転者の配置基準によりツーマン運行となる。

計算方法は時間・キロ併用制運賃と同様。

@1,890円×20時間+@10円×960km=47,400円

◎深夜早朝運行料金

◆22:00～翌5:00の間に発生する時間制運賃の2割以内で収受可能(2割で計算)

22:00～1:30(3時間30分)+帰庫後の点呼点検時間1時間 → 4時間30分 → 5時間

@3,580円×5時間×20%=3,580円

◆22:00～翌5:00の間に発生する交替運転者の配置料金の時間あたり料金の2割以内で収受可能(2割で計算)

22:00～1:30(3時間30分)+帰庫後の点呼点検時間1時間 → 4時間30分 → 5時間

@1,890円×5時間×20%=1,890円

運賃・料金合計 220,470円(税別)

ケース3 (2泊3日 小型車1台チャーター)

X空港～甲地区・乙地区・丙地区・丁地区方面～Y空港～A市内

初日 5:00 A市内営業所 出庫～6:30 X空港発(乗車)～15:00 甲ホテル着 走行距離 210km
2日目 8:00 甲ホテル発～甲地区・乙地区周遊～18:00 丙旅館着 走行距離 250km
3日目 8:00 丙旅館発～丁地区周遊～14:00 Y空港着(降車)～
15:00 Y空港発～21:00 A市内営業所 帰庫 走行距離 450km

時間・キロ併用制運賃の計算式 =

時間あたり運賃額 × 走行時間 + **キロあたり運賃額 × 走行距離**

時間制運賃

キロ制運賃

それでは、実際に計算してみましよう...

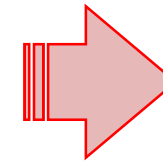
- ※1 走行時間 → 出庫から帰庫までの拘束時間をいい、回送時間を含む。また、出庫・帰庫後の点呼点検時間として、合計2時間を加える。
- ※2 走行距離 → 出庫から帰庫までの距離をいい、回送距離を含む。
- ※3 距離の端数 → 10km未満 → 10kmに切り上げ。
- ※4 時間の端数 → 30分未満切り捨て、30分以上は1時間に切り上げ。
- ※5 収受すべき運賃・料金 → 計算された額 × 消費税で1円単位に四捨五入。



ケース3 (2泊3日 小型車1台チャーター)

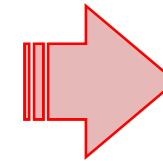
X空港～甲地区・乙地区・丙地区・丁地区方面～Y空港～A市内

初日 5:00 出庫～15:00 甲ホテル着 → 10時間
 出庫前点呼・点検時間⇒1時間
 ホテル着後点呼・点検時間⇒1時間



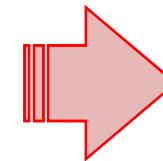
走行時間 **12時間**
 走行距離 210km

2日目 8:00 甲ホテル発～18:00 丙旅館着 → 10時間
 ホテル発前点呼・点検時間⇒1時間
 旅館着後点呼・点検時間⇒1時間



走行時間 **12時間**
 走行距離 250km

3日目 8:00 丙旅館発～21:00 帰庫 → 13時間
 旅館発前点呼・点検時間⇒1時間
 帰庫後点呼・点検時間⇒1時間



走行時間 **15時間**
 走行距離 450km

◎時間・キロ併用制で収受可能な運賃 =

時間あたり運賃額×走行時間 + キロあたり運賃額×走行距離
 @4,450円×39時間 + @120円×910km=282,750円

※北海道ブロック上限額で計算

◎深夜早朝運行料金

22:00～翌5:00の間に発生する時間制運賃の2割以内で収受可能(1割で計算)

5:00出庫 → 4:00～5:00 = 深夜早朝の出庫前の点呼・点検時間 1時間

@4,450円×1時間×10%=445円

運賃・料金合計 283,195円(税別)

なお、このケースの場合は昼間実車500km超の日がないため、ワンマン運行可能である。
 また、ケース1との違いは、2日目の運行の有無が異なっている。